

舌がん

質問 口内炎が2週間以上治らず、ヒリヒリする痛みが続いています。鏡で見ると舌に白っぽい部分があります。これは舌がんでしょうか。



金村 亮

元徳島大学病院
耳鼻咽喉科・
頭頸部外科助教

回答 舌がんは口の中にできるがん

の中で最も多く、特に舌の辺縁にできやすいとされています。初期症状として白っぽくなったり浅い潰瘍が現れたりすることが多く、口内炎とよく似ているため、がんと気付かれにくいのが特徴です。通常の口内炎は1〜2週間で自然に治るため、長引く場合は注意が必要です。

診断にはまず組織検査が必要です。がんと診断されれば造影CT、造影MRI、PET/CTなどで検査して進行度を確認します。舌がんは早期でもリンパ節に転移していることがあります。肺や肝臓などへの遠隔転移がなければ根治を目指すことができます。

長引く口内炎に注意



治療には手術と放射線治療、化学療法があり、これらを組み合わせた治療計画を立てます。基本的にがんの根治治療は手術が放射線治療になるため、どちらを軸にするかが重要になります。一般的に舌がんでは根治性の

「第4のがん治療」

- ・2017年承認 オプジーボ
- ・2019年承認 キイトルーダ



「第5のがん治療？」

- ・2021年承認 光免疫療法
- ・2020年承認 ホウ素中性子捕捉療法

より高い手術を選択します。進行がんでは舌の半分〜大部分を切除する必要があり、欠損部を補うために再建手術を行います。再建手術では自身の大腿部や腹部の組織を使用することが多く、リハビリを十分にすれば食事や日常会話ができるようになります。

がん何でもクイズ

たばこには何種類の発がん性物質が含まれているのでしょうか。

- ①約20種類 ②約50種類 ③約70種類

行こうよ！がん検診

遠隔転移なければ根治も

喫煙と飲酒の習慣、入れ歯や虫歯などによる舌への慢性的な刺激は舌がんの危険因子です。長引く口内炎などで困りの方は、まず近くの耳鼻咽喉科を受診し相談してください。

舌がんは会話や食事などの日常生活に大きな影響を及ぼしますが、早期発見・治療で根治が目指せます。徳大病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科には、舌がんなどの頭頸部がん治療に習熟した専門医が数人おられます。専門医を中心にカンファレンスで治療方針を検討し、症例に応じたオーダーメイド治療を提供します。

標準治療後に転移や再発した場合は、転移した臓器の状態や病変の大きさを調べた上で、再手術や放射線治療に加え、免疫チェックポイント阻害薬、光免疫療法(PIT)、ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)などの適用を検討します。

がんに関する質問は
徳島がん対策センター

電話 088 (634) 6442

(平日午前
8時半から
午後5時まで)
へ。

